

□には、リンクがあります。※は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム 蔵の家 ※
日付	平成18年3月31日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス ■評価調査員：薬剤師・介護支援専門員 介護経験歴6年
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る（改善状況のコメントがあります！）※	

外部評価の結果

概評
全体を通して（特に良いと思われる点など）（記述式） 昨年度、台所が壁で仕切られ見守りがしにくいのではと指摘させていただきましたが、その後すぐに壁に穴をあけ見守りがしやすく工夫していただいていた。職員から見守りがしやすくなったとの声が出て、すぐに改善する姿勢は、評価冥利につきました。 入居者の話を良く聞いて、決して無理強いはありませんが、食事の準備などの生活リハビリがしっかり出ています。入居者の希望があればドライブや買い物など積極的に出かけています。家族との関係も良いためか行事を行なうときは頻繁に多くの家族が参加してくれます。日ごろの面会にもよく来てくれています。職員の連携も良く出ています。居場所を離れるときは必ず他の職員に伝えてから移動しています。意識付けがしっかりしている前向きなホームです。
改善の余地があると思われる点（記述式） 1階のユニットと2階のユニットで入居者の落ち着きに差が少しみられました。2階のユニットでは職員が入れ替わり、仕事になれないところがありました。また、構造的なもので難しいのですが、2階のユニットにはトイレが2箇所ありますが、1箇所は車イスでは入りづらいようです。何か工夫が出来たらと感じました。いろいろ分からないところが原因で、ストレスが溜まっている入居者が多いように感じました。理解できにくいですが、コミュニケーションをもっと図って理解できるようにすれば、さらに良くなると思います。 施設としてはよくまとまっていますが、より素晴らしい施設を目指す為に、細かい点から一段上の施設を目指して欲しいと思います。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目 記述回答	グループホームとしてめざしているものは何か (記述式で回答) 「こころゆたかに すこやかに」を理念として掲げています。入居者がずっと生活したいと思えることを目指しています。入居者が自由にやりたいことができるように職員は見守りを中心にバックアップをしています。1日のスケジュールはなく、入居者が思い思いに過ごし、レベルの低下が起きないように生活リハビリや散歩、外出などを行っています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居居の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目 記述回答	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か (記述式で回答) 入居者のそばに常に居てあげることで落ち着くようです。外出も頻繁に行なっています。買い物途中、車で入居者の家の近くを通ると喜ばれ、グループホーム内でも入居者の家の周りの話をすると目の輝きが増すようです。家で犬を飼っていた入居者は寂しくないように、いつも犬のぬいぐるみを持っています。そして、居室の入り口には大きな犬の置物を置いています。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏かな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	ブライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目 記述回答	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か (記述式で回答) 入所まで働いていた入居者は編み物をしてもらっています。職員の言葉かけもあり作品がたくさん出来ています。園長先生だった入居者にはキーボードで毎日演奏をして頂き、本が好き入居者には図書館までいっしょに出掛け本を借りています。新聞を隅から隅まで読み職員に書いてある内容を説明してくれる入居者もいます。入居者のできることは何かあるかを模索しています。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
33	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
34	地域との連携と交流促進	○	
35	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目 記述回答	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か 入居者が何を希望しているかを職員はよく観察しています。居室で転倒し骨折した入居者が退院時には手が動かない状態でしたが、ピアノの演奏が好きなので、グループホームにあったキーボードを使っているうちに指が動くまでに回復していました。日中は玄関に鍵を掛けていません。入居者が出たければ自由に出ることができます。見守りもしっかり行なっています。		